

【資料 9】非常時の広場・庁舎等検討ワーキングチーム

■非常時ワーキングチームの目標

ワーキングチームの目標を下記に示す。

非常時ワーキングチームの目標

- ①庁舎及び広場の防災的な役割、防災に係る導入機能、非常時における各課、各施設の連携など防災計画の方針を示す
- ②市民・職員みんなが安心安全と感じられる庁舎を目指し、あらゆる事態を想像し、それらに対応できる庁舎エリアのイメージを示す
- ③非常時における各課の動き方を把握し、スムーズに機能転換が果たされる安心安全の拠点となる整備計画（フェーズフリーな庁舎エリア）を示す

■ワーキングチームの構成員

ワーキングチームの構成員を下記に示す。

非常時ワーキングチームの構成員

総務部	1名：危機管理課	（危機管理・災害対策）
健康福祉部	1名：健康増進課	（医療の観点）
環境水道部	2名：水道事業課	（上水所管）
	公共下水道事業課	（下水所管）
	1名：会計課	

■非常時ワーキングチームの最終成果物のイメージ

ワーキングチームの最終成果物のイメージとして下記に示す。

非常時ワーキングチームの最終成果物

- ・コンセプトの立案
→防災機能を精査し、門真市庁舎における防災のコンセプトをつくる
- ・非常時のタイムラインに沿った利用想定マップ
→災害発生時の対応を時系列に整理する（対応する課についても記載）
→災害時のセキュリティ計画を作成する
→発生時、復旧時ごとに作成する

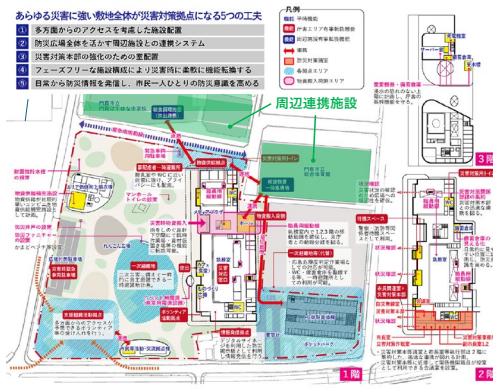
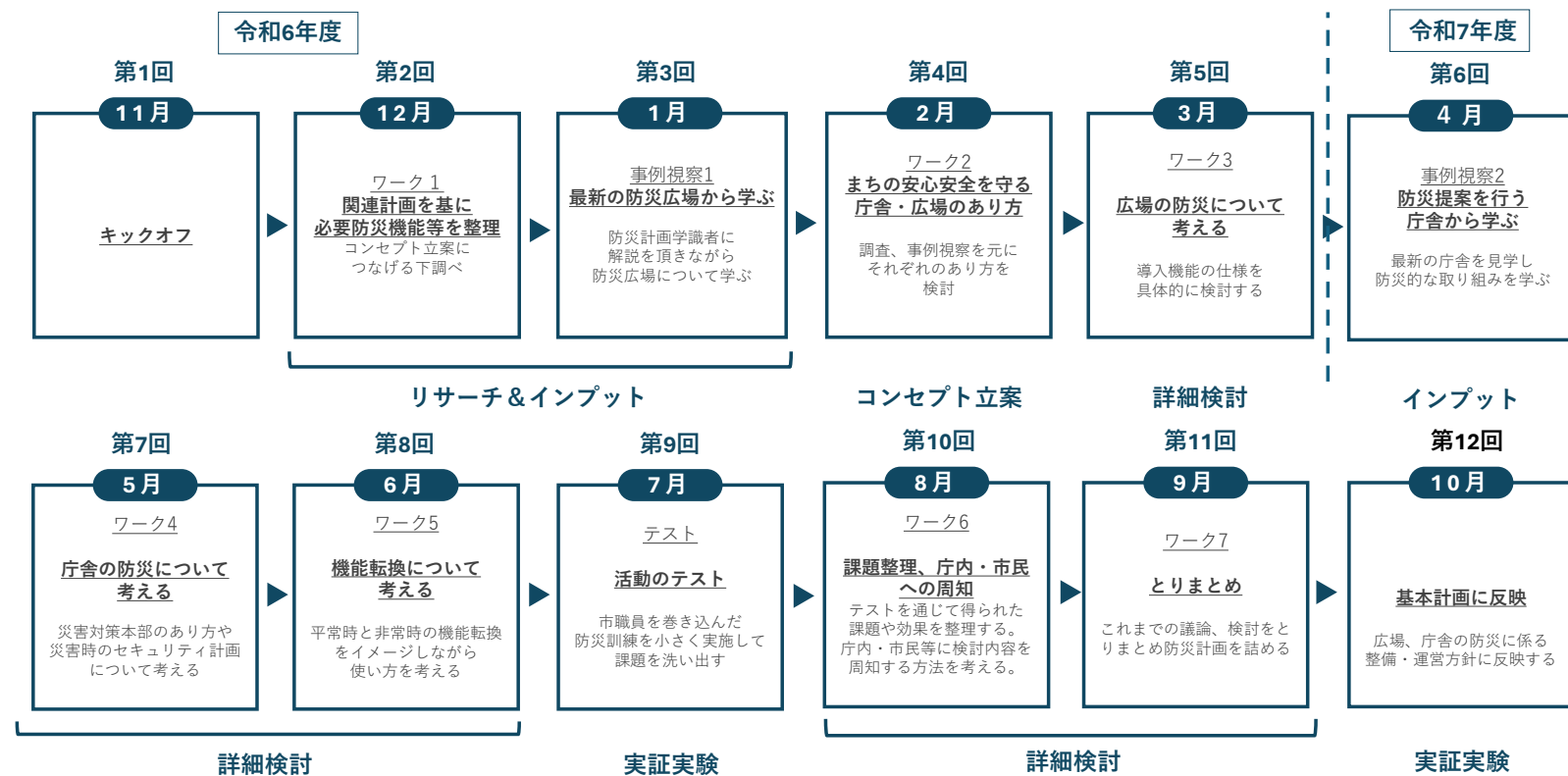


図.利用想定マップのイメージ

■非常時ワーキングチームの流れ

下記のスケジュールで非常時ワーキングチームを進めていく。全12回とし、令和6年度においては第5回コンセプトの詳細検討までを行う。現在3回目までを行った。



【各回の具体的な内容】

第2回：関連計画を踏まえたうえで必要防災機能を考える

- ・門真市地域防災計画
- ・防災機能を有する公園基本計画

第3回：最新の防災広場から学ぶ

→岩倉公園(茨木市)、満寿美公園(池田市)の視察

第4回：必要となる防災機能の整理

→非常時の動き方を踏まえ、必要となる防災機能を整理する各課、他施設間との連携のあり方

→連携に係る課題を踏まえ、各課間及び他施設間との連携をおこなう上での理想的なあり方を考える

防災計画の方針策定

→まちの安心安全を支える庁舎エリア（庁舎及び広場）のあり方を考える

第5回：広場の防災について考える（合同WT）

→導入機能の仕様を具体的に検討する



岩倉公園



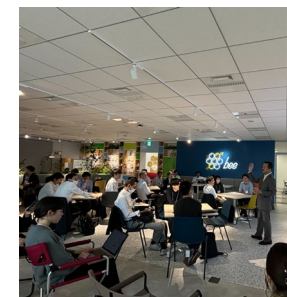
満寿美公園

■これまでの非常時ワーキングチームの検討経緯

第1回ワーキングチーム 2024年11月12日（オカムラ大阪ラボオフィス）

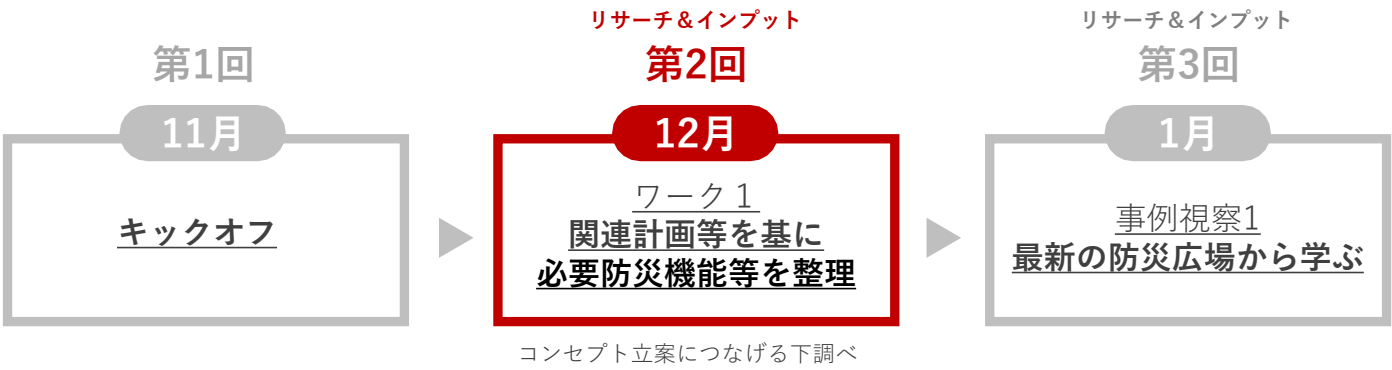
参加者：門真市5名/RIA2名/SPEAC2名

はじめに、非常時WTの目的及び進め方を確認した後、自己紹介とアイスブレイクを行った。続いて提案内容の確認と関連計画である「門真市地域防災計画」と「災害機能を有する公園基本計画」を周知し、2つの関連計画を読み込むことを次回までの課題とした。最後に第2回以降の流れの確認を行った。



第1回ワーキングチームの様子

■ 第2回 非常時ワーキングチーム / 2024年12月20日開催



■ 第2回 非常時ワーキングチーム議題

- ① 庁舎エリアの防災機能の在り方について
- ② 庁舎エリアに必要な防災機能の精査・検討
- ③ 視察予定の防災機能を有する公園の概要、視察時のヒアリング事項について



第2回非常時ワーキングチームの様子

① 庁舎エリアの防災機能の在り方について

基本構想より、庁舎エリアを含む中町地区は、地域防災計画において、防災の観点から以下のような役割を位置づけた。



【一時避難地とは】

広域避難地へ避難する前の中継地点で、避難者が一時的に集合して待機する場所又は集団を形成する場所とし、集合した人々の安全がある程度確保されるスペースをもつ公園、緑地、学校のグラウンド、団地の広場等をいう。（出典：「門真市地域防災計画」/門真市防災会議）

■ 導入機能検討のための基本方針

1. 避難地機能の分類は一時避難地とするが、庁舎エリア周辺(広域)からの避難を考慮した、避難地機能の検討を行う。
2. 周辺施設と防災機能を補完・連携して、地域単位で防災力の構築を検討する。
 - 門真市立総合体育館と一体となった「広域的な防災拠点」及び密集市街地における「避難拠点」としての整備、機能導入を図る。
 - 避難所に指定されている、門真はすはな中学校、門真小学校との適切な連携を図る。

② 庁舎エリアに必要な防災機能の精査・検討

上位計画で整理・検討されている内容、現庁舎並びに周辺施設に備わっている防災機能をもとに、庁舎エリアに必要とされる防災機能・防災機能施設の検討を非常時ワーキングチームにて行った。

表： 庁舎エリアに必要な防災機能

凡例： ○：必要（既存施設においてはすでにある）△：保留 ―：該当なし

項目の並び替えは必要に応じて行う

No.	項目	〔新〕 門真市庁舎エリア		〔現〕 門真市庁舎エリア		周辺防災連携施設	
		庁舎棟	広場	庁舎棟	中町公園	②門真市立はすはな中学校	③門真市立総合体育館
1	災害対策本部機能	○		○	―		
2	災害対策本部	○		○ 別館3階 第三会議室	―	―	―
3	災害対策本部 代替地			○ 本館2階 大会議室 ※代替地候補 第1位	―	―	○ 2階 武道室 ※代替地候補 第2位
4	現地災害対策本部	○		○ (災害の規模その他の状況に設置場所を本部長が決定)	―	―	○ (災害の規模その他の状況に設置場所を本部長が決定)
5	初動対策部	○		○ 別館3階 第二会議室	―	―	○
6	災害事務機能	○		○ 別館3階 第二会議室	―		
7	災害対策本部事務局 代替地			―	―	―	○ 2階 研修室 ※代替地候補
8	災害支援受入機能	○		―	―		
9	庁舎等と連携して市域の救助、復旧活動を行う機能		○	―	―		
10	隣接施設とも連携した一時避難・待機機能		○ 中町公園を含む 広場等が担う	―	○		
11	消防医療活動の支援機能		○	―	―		
12	医療活動の支援	○	○	―	―	―	○
13	情報の収集と伝達機能		○	―	○		
14	関係機関の通信窓口	○		○ 別館3階 第二会議室	―	―	○
15	各種輸送のための支援機能		○	―	―		

災害対策本部機能

災害対策本部代替地機能

一時避難地としての情報伝達・支援機能

表：庁舎エリアに必要な防災機能

凡例： ○：必要（既存施設においてはすでにある）△：保留 ー：該当なし

項目の並び替えは必要に応じて行う

No.	項目	（新）門真市庁舎エリア		（現）門真市庁舎エリア		周辺防災連携施設		
		庁舎棟	広場	庁舎棟	中町公園	②門真市立 はすはな 中学校	③門真市立 総合体育館	
16	社会基盤等の復旧活動の支援機能		○					一時避難地としての 情報伝達・支援機能
17	帰宅支援機能			ー	ー	ー	ー	
18	一時避難生活支援機能			ー	ー	○	ー	一時避難生活支援機能
19	自衛隊の救護活動（ヘリ着陸）			ー	ー	ー	ー	
20	ボランティア活動の場			ー	ー	○	○	ボランティア活動・ 車両集合基地 機能
21	復興・復旧資材、車両集合基地		△	ー	ー	○	ー	
22	備蓄倉庫	○		ー	ー	○	○	備蓄機能
23	寝屋川浸水想定区域内施設			ー	ー	ー	ー	
24	淀川浸水想定区域内施設			ー	ー	○	ー	避難所機能
25	避難所			ー	ー	○	ー	
26	洪水時避難所			ー	ー	○	ー	

凡例： ○：必要（既存施設においてはすでにある）△：保留 ー：該当なし

項目の並び替えは必要に応じて行う

No.	項目	（新）門真市庁舎エリア		（現）門真市庁舎エリア		周辺防災連携施設		
		庁舎棟	広場	庁舎棟	中町公園	②門真市立 はすはな 中学校	③門真市立 総合体育館	
27	給食調理施設			ー	ー	○	ー	調理機能
28	応急仮設住宅建設候補地		△	ー	○	ー	ー	仮設住宅建設 候補地
29	記者発表会場	○		○ 本館2階 入札室	ー	ー	ー	記者発表会場
30	救援物資一時集積場			ー	ー	ー	○ メインアリーナ	救護物資の集積場
31	遺体安置所			ー	ー	ー	○ サブアリーナ	遺体安置所
32	応急危険度判定作業場候補地			ー	ー	ー	○ 2階 武道室 1階 会議室2	応急危険度判定作業場 候補地
33	防災無線機器	○		○	ー	○	ー	庁舎エリアの防災機能を 持続維持するための防災施設
34	非常用発電機	○		○	ー	ー	○	
35	太陽光発電設備	○		ー	ー	ー	○	
36	マイクロジェネレーションシステム（停電時対応型）	○ （要検討）		ー	ー	ー	○	
37	マンホールトイレ	△	△	ー	ー	ー	○	
38	かまどベンチ		△	ー	ー	ー	ー	
39	耐震性貯水槽	△		ー	ー			
40	防火水槽	△		ー	ー		○	

■基礎資料として用いた上位計画等

- ・平成26（2014）年3月

・令和5（2023）年6月

・令和6（2024）年2月

・令和6（2024）年2月

・令和6（2024）年2月修正

・門真市立総合体育館 HP
- 門真市中町地区 防災機能を有する公園基本計画 / 門真市都市建設部 まちづくり課 地域整備グループ

門真市庁舎エリア整備基本構想 / 門真市まちづくり部 庁舎エリア整備課

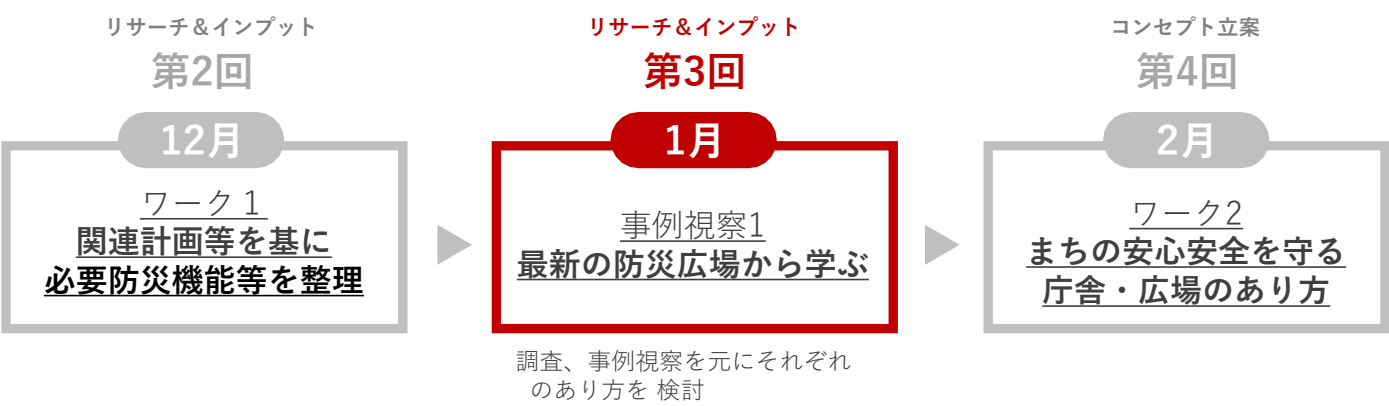
門真市地域防災計画 / 門真市防災会議

門真市地域防災計画（資料編） / 門真市総務部 危機管理課

門真市職員災害時初動 / 門真市総務部 危機管理課

「防災機能について」

第3回 非常時ワーキングチーム / 2025年1月24日開催



第3回 非常時ワーキングチーム議題

事例視察の目的

最新の防災広場の事例を視察し、庁舎エリアの防災機能の整備の仕方について検討を深める

① 岩倉公園（茨木市）



「大学のキャンパスと一体化した公園」

視察風景（防災設備など）



かまどベンチ



防災パーゴラ（屋根ルーバー稼働式）



園内マップ



あずまや

② 満寿美公園（池田市）



「いつもの場所が避難場所になる」

視察風景（防災設備など）



かまどベンチ



雨水貯留槽を表す舗装切替（黄色部）



マンホールトイレ



備蓄倉庫

ヒアリングした内容

岩倉公園（茨木市）
①：市のHPや公園内の看板で、日頃から防災情報を周知している （クラウド型システムで被災状況の一括管理やリアルタイムでの情報共有が行える）
②：地域主体で防災力を高める取り組みを行っている （地域の防災士が、防災設備の使い方レクチャーを市民に行っている）
③：非常時の電力融通など、地域防災に対する連携体制を構築している （立命館大学・イオンと三者で連携協定を結び、体制づくりを行っている）
④：避難所と一時避難地の防災的な役割分担を設定している （避難地は避難所の補完機能として位置付け、避難所に避難しない在宅避難者等が使用する想定）
満寿美公園（池田市）
①：災害時の公園活用に関する想定レイアウトがある （外構舗装部では物資配給、内側は短期滞在ができるスペースとなる）
②：ランドスケープの形態と避難地機能に関連性を持たせたデザイン （盛土地形により中央広場と外周園路を分節し、日常時と非常時の風景を両立）
③：周辺スペースとの一体性を考慮した公園整備計画 （歩道工事と一体的な整備を検討し、公園敷地の排水の一部が道路に流入する構造を実現）
④：メンテナンスコストも踏まえた導入施設の検討が重要（ex）芝生など

計画の精査に向けた、視察時のポイント

ハード
①：防災情報の周知（日常・非常時） ex) サイン計画
②：非常時の市民開放スペースの設定 ex) 岩倉公園のフューチャープラザ
③：周辺施設と連携した防災機能の確保 ex) 電力や備蓄材の融通
ソフト
①：防災情報の周知（日常・非常時） ex) 閲覧システム、防災訓練
②：地域と連携した防災体制づくり ex) 防災士、自治会
③：周辺施設と連携した防災体制づくり ex) 大学や民間事業者との連携協定

今後の展望

広場WTの成果と重ね合わせ、
日常風景が防災拠点にスムーズに転換する庁舎エリアを目指す